

# 核兵器兵器廃絶とエネルギー政策の実現をめざし

## KAKKIN の役割発揮のため更なる連携強化を確認

### ～ 第58回全国代表者会議を開催 ～

平成 30 年 1 月 26 日(金)



KAKKIN は、平成 30 年 1 月 26 日(金)東京・日産労連ゆうらいふセンターにて、全国の地方組織と会員団体から 215 名が参加して第 58 回全国代表者会議を開催した。

会議は、司会の高橋常任理事の開会挨拶から始まり、議長に鈴木理事(東北ブロック)を選出し、冒頭に原爆被災者への黙祷をささげた。続いて主催者を代表して渡邊議長代行、支援組織を代表して松浦 UA ゼンセン会長、エネルギーと経済・環境を考える会を代表して柳澤代表からそれぞれ挨拶を受けた後、来賓の方々からご祝辞をいただいた。

議事では、平成 29 年度主要活動報告・海外視察報告・会計報告・会計監査報告を行い、質疑の後満場一致で確認された。続いて特別報告として「当面する総合的エネルギー政策【改訂版】」(エネルギー政策のコーナーに掲載)が報告され、満場一致で確認された。

議案としては、平成 30 年度の活動の基調・具体的活動の取り組み・予算・役員が提案され、質疑の後、4 議案とも満場一致で承認された。

その後、郡司副議長の新役員代表挨拶、松尾副議長の閉会の挨拶を受け、最後に澤田専務理事のガンバロー三唱で会議は終了、平成 30 年度の活動がスタートした。昨年からの核兵器廃絶に向けた国際的な機運の高まり、一方で、国のエネルギー基本計画実現には欠かせない、安全の確認された原子力発電所の再稼働が一向に進まない状況改善には、KAKKIN の役割発揮が求められ、従来に増して会員組織・中央・地方での連携が必要と全員で決意を新たにした全国会議となった。また、会議終了後に全国からの参加者の交流会を開催し、多くの方々に参加をいただき親交を深めた。